

1. 和歌山県地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	1,175,211,570	
	内訳	うち、国費相当額	166,704,658
		うち、地方負担相当額	166,704,658
		うち、負担附寄附金等	841,802,254
②	基金運用益	37,105	
③	その他収入		
④	負担附寄附金等	5,412,918	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	27,367,204	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	1,153,294,389	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	153,722,147
		うち、地方負担相当額	153,722,147
		うち、負担附寄附金等	845,850,095

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		1,153,294,389	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		282,058,000	
⑩	保有割合		4.089	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠

運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額) □

取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	わかやまこどもエコチャレンジ	2,792,817		2,792,817		45%	3,639,000	18,199,000
2	グリーンカーテン	985,006		985,006	一部負担附寄附金等 充当事業 負担付寄 附金等：408,831円	57%	975,000	4,895,000
3	わかやま環境賞表彰	96,315		96,315		74%	154,000	794,000
4	実践的な温暖化対策の取り組みの発信	546,480		546,480		84%	547,000	2,747,000
5	地域草の根運動の推進	2,115,848		2,115,848		68%	2,139,000	10,699,000
6	おもしろ環境まつり	2,018,000		2,018,000		72%	2,049,000	10,249,000
7	環境学習アドバイザーの派遣	888,364		888,364		72%	991,000	4,991,000
8	水性生物調査	204,087		204,087	負担附寄附金等充 当事業 負担付寄 附金等：204,087円	13%	271,000	1,355,000
9	クリーンアップ運動 (ソーシャルごみ拾いSNSの運営)	1,840,740		1,840,740		48%	1,950,000	9,750,000
10	外来生物防除のための普及啓発プロジェクト	21,450		21,450		43%	404,000	2,044,000
11	プラスチックごみ対策	778,603		778,603	負担附寄附金等充 当事業 負担付寄 附金等：778,603円	48%	1,042,000	5,242,000
12	生物多様性和歌山戦略推進プロジェクト (保全を担う人材育成)	15,079,494		15,079,494		24%	17,875,000	89,395,000
13	和歌山県ゼロカーボンドライブ推進	0		0			43,773,000	43,773,000
14	クリーンアップ運動 (スポGOMI大会の開催)	0		0				10,425,000
15	わかやま環境教科書の作成	0		0				10,000,000
16	わかやま環境検定	0		0				7,500,000
17	地域3R活動支援	0		0				50,000,000
合計		27,367,204	0	27,367,204			75,809,000	282,058,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	県内全域の温室効果ガス削減目標 2013年度比 -41.5% ※ -46.0% (2030年度)
成果実績	-31.0%
目標値	-41.5%
達成度	75%

令和4年度 事業報告書

事業名	わかやま こどもエコチャレンジ	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成27年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 目的
子供を通じた家庭でのエコ活動を通して、県民一人ひとりの環境意識の向上を図り、各家庭での温室効果ガス排出量の削減のための実践的な取組を促進
- 目標値
配布数に対する活動レポートの提出率 20パーセント

2. 概要

- 夏休み期間中に、子供が家族と一緒に「節電」「節水」「ごみの削減」等のエコ活動に取組
- 取り組んだ結果を「エコチャレンジシート」に記録し、県に提出
- 提出された「活動レポート」を公共施設等で展示、HPで公表
- 身近な取組を広く紹介することで、各家庭での実践的な取組につなげる

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

- 県内小学4・5・6年生（22,455人）を対象に「エコチャレンジシート」を配付し・実践
- 活動レポートの提出 3,741部（94校）
- 提出された活動レポートのうち2,458点を県内8か所にて展示し、アンケート調査を実施
- 活動レポートを県ホームページへ掲載

令和4年度 事業報告書

事業名	グリーンカーテン	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成25年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
県内小学校等でのグリーンカーテンづくりを通じ、実践的な環境学習を支援
環境教育を通じた環境保全活動を支援、環境問題に関する知識の習得を図る

○目標値
グリーンカーテン事業に取り組む参加校数 60校

2. 概要

○県内の小学校等から参加校を募集し、ゴーヤ、パッションフルーツの苗等栽培用具一式を配付し、グリーンカーテンづくりを行うことで、その節電効果を実感

○結果報告を取りまとめ、HPへの掲載することで啓発を実施

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○各市町村教育委員会の協力を得て、県内全小学校に案内を配布し募集

○平成29年度よりプランターに貼るシールを配布し、学校名や目標を記入するように指導を工夫

○グリーンカーテン事業を県内の小学校に普及させるため、実施校を訪問し、児童の活動の様子をメディアを通して発信する苗植えイベントを実施

○令和4年度は県内小学校校63校にグリーンカーテンづくりの教材を配布

○各学校における実施状況をホームページで公開

令和4年度 事業報告書

事業名	わかやま環境賞表彰	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成14年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
県内で活動する環境の保全に関する実践活動が他の模範となる団体又は個人を表彰し、活動事例を広く県民に紹介することにより、環境保全に関する自主的な取組を促進

○目標値
応募団体（者）数 25団体（者）

2. 概要

○環境の保全に関する実践活動が他の模範となる団体又は個人を表彰
○活動事例を広く県民に紹介することにより、環境保全に関する自主的な取組を促進させる
○毎年6月の環境月間にあわせて、表彰式を開催し、賞状・記念品を授与

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○リーフレット（募集要綱、応募用紙）を作成し、応募団体（者）を募集
○県HPへの掲載、市町村、教育委員会、学校、関係団体にリーフレットを送付するとともに周知・推薦を依頼
○選考委員会による選考を経て知事が受賞者を決定 5団体に対し知事表彰
○環境月間に合わせて表彰式を開催し、賞状・記念品等を授与
○応募数16団体（者）。（内、1団体は失格）

令和4年度 事業報告書

事業名	実践的な温暖化対策の取組の発信	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成13年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 目的
身近な広報媒体であるラジオ放送を通じて地球温暖化対策の必要性などを県民にむけてわかりやすく発信し、地球温暖化問題への県民の意識啓発を行い、自主的な行動、取組につなげる
- 目標値
年間放送回数 54回

2. 概要

- 1年を通じた、地球温暖化対策に関するラジオCMの放送
【主な放送内容】環境月間(わかやま環境賞の募集を含む)、クールビズ、省エネ家電への買替、エコドライブの励行、おもしろ環境まっりの開催、関西冬のエコスタイル、電動車への買換
- 「環境」をテーマとしたラジオ番組の放送

3. 根拠法令等

環境基本法、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

- 年間放送計画の策定
- 放送事業者と委託契約締結
- 放送内容の協議（時期毎）
- 放送(年間実施回数 54回)

令和4年度 事業報告書

事業名	地域草の根運動の推進	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成21年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
和歌山県地球温暖化防止活動推進員による、地域における環境保全活動の活性化を図る

○目標値
和歌山県地球温暖化防止活動推進員数 150人

2. 概要

○和歌山県地球温暖化防止活動推進員による活動（イベント、講演会、実践交流会の開催など）の支援、養成講座
・スキルアップ講座の開催等、地域住民による自主的な活動の取組を支援

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例
和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○地域協議会の活動（イベント、講演会、実践交流会の開催など）支援
○地球温暖化対策情報誌「わおん通信」を発行
○地球温暖化防止活動推進員の養成講座、スキルアップ講座の開催
○和歌山県地球温暖化防止活動推進員数 90人（R4年度末）

令和4年度 事業報告書

事業名	おもしろ環境まつり	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成29年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 目的
環境をメインにしたイベントを開催し、主に子供たちにエコな活動や環境保全の楽しさを体験してもらい、家庭等におけるエコ活動・環境保全活動を促進する
イベントの運営・ブース出展を日頃から県内で環境保全に取り組んでいる民間団体等が行うことで、団体間の連携、情報交換が促進され、自主的な取組が活性化される
- 目標値
イベント来場者数 2,500人

2. 概要

- 5つのテーマ（地球温暖化、ごみと3R、生物多様性、エネルギー、水と食）に関する体験型ブースの出展
○出展者は、県内で環境保全活動を実施する民間団体、大学、企業、行政等
○イベント来場予定者数は500名（オンラインで同時開催）

3. 根拠法令等

環境基本法、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

- イベント原案検討
○和歌山県地球温暖化防止活動推進センターへの業務委託契約締結
○実行委員会の設置
○イベント内容確定
○出展者募集
○開催告知
○イベント開催
来場者数500名（令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から事前申込みで先着順にして開催。同時にオンライン開催）

令和4年度 事業報告書

事業名	環境学習アドバイザーの派遣	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成15年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
環境分野の専門的知識を有する人材を、県内で活動する団体等の環境学習会、環境イベント、研修会等に講師として派遣することで、身近な環境問題に関する知識の普及を図る

○目標値
受講者数 3,500人

2. 概要

○自然環境や大気、水質、土壌など環境分野の専門的知識を有する人材を、「環境学習アドバイザー」として登録

○アドバイザーを学校・市町村・事業所・住民団体等が実施する自然観察会や研修会に講師として派遣し、受講者の知識の習得を図る

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○環境学習アドバイザーの登録

○環境学習を希望する県内団体からの依頼に応じ、令和4年度はアドバイザーを派遣67回実施、のべ79名の講師を派遣し、2,730人が学習活動に参加。

令和4年度 事業報告書

事業名	水生生物調査	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	令和4年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 目的
川にすむ生物を調べ、水の汚れの程度を知るとともに、水辺に親しむことで水質の保全について関心を育む。
- 目標値
のべ300人、県内30か所で調査する。

2. 概要

- 6月から9月の間、申し込み者に調査キットを配布する。
- 和歌山県内の河川の安全な場所で、3～5人のグループを作り、調査を行う。

3. 根拠法令等

環境基本法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、和歌山県環境基本条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

- のべ270人、県内27地点で調査を行った。

令和4年度 事業報告書

事業名	クリーンアップ運動（ソーシャルごみ拾いSNSの運営）	新規・継続区分	継続
事項名	循環型社会の構築による取組	開始年度	平成30年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 県民局 県民生活課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
若年層の県民に、地域のゴミ拾い活動への参加を促すことを目的に、SNSを活用し楽しみながら活動することで、地域の環境保全に対する意識を高めるとともに、ごみ排出量の削減を図る

○目標値
清掃活動参加者数 令和9年度 延べ30,000人

2. 概要

○スマホアプリを活用し「地域清掃の見える化」と「実態把握」を通じ、環境美化と県民運動の活性化を図る
○地域の美化活動への関わりを通じ、ごみの削減による県内温室効果ガス排出量の削減につなげる

3. 根拠法令等

環境基本法、廃棄物処理法、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画、和歌山県廃棄物処理計画

4. 実施内容等

○ゴミ拾いSNSの既存のアプリを導入し、清掃活動をスマホやパソコンから簡単に見える化
○「ありがとう」を贈りあうことで、今後の清掃活動のやる気の維持や、活動の長期化を図る
○活動に取り組む企業や団体に見える化し、広く県民に社会貢献を周知することで、活動の広がりを図る
○毎月、県内の清掃場所やゴミの量や質が統計的にわかる → 今後の美化活動施策に活用
○アプリへの投稿回数が多かった個人・団体を表彰
○清掃活動参加者数 延べ25,307人（令和4年度清掃活動参加者数：6,855人）

令和4年度 事業報告書

事業名	外来生物防除のための普及啓発プロジェクト	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和元年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課自然環境室	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
生き物とふれあう機会の多い子ども世代に対し、外来生物の学習を進めるとともに、外来生物に関する啓発グッズ配布など、県民に広く普及啓発することにより、外来生物による県民生活や在来生態系への被害の低減を図る

○目標値
外来生物の学習及び研修会の開催回数 7回

2. 概要

○学校における環境学習や、地域における子ども向けの活動において、外来生物の学習や研修会を開催
○外来生物にかかる普及啓発のためのグッズを作成し、配布

3. 根拠法令等

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律、和歌山県外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する条例、生物多様性和歌山戦略

4. 実施内容等

○外来生物防除の啓発
小学校、公園等での外来生物防除の指導（橋本市立高野口小学校、和歌山市上三毛児童遊園等で実施）

令和4年度 事業報告書

事業名	プラスチックごみ対策事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和2年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
海洋プラスチックごみの発生原因となっているごみの散乱を防止するため、県民への教育・啓発の実施、海岸等での県民一斉清掃活動、プラスチックごみ削減のためのキャンペーンや協力事業者制度による県民運動を通じて、広域的な環境の保全及び海洋プラスチック問題の解決を図る

○目標値
清掃実施カ所 8カ所

2. 概要

○海岸等での一斉清掃活動の実施
○ごみの散乱防止に資する県民への教育・啓発
○県民運動としてプラスチックごみ削減に取り組むための施策の実施

3. 根拠法令等

和歌山県ごみの散乱防止に関する条例
プラスチック資源循環戦略
海洋プラスチックごみ対策アクションプラン

4. 実施内容等

○友ヶ島における県民一斉清掃の実施
○ごみの散乱防止に係る条例チラシの作成
○プラスチックごみ削減に関するキャンペーン及び協力事業者制度の実施

令和4年度 事業報告書

事業名	生物多様性和歌山戦略推進プロジェクト（保全を担う人材育成）	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和3年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課自然環境室	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 目的
若年層の生物多様性への理解を深めるとともに、フィールド活動への興味関心を高め、生物多様性の保全を担う人材の発掘・育成と裾野の拡大を進める
- 目標値
実践活動作品応募者数 400人
自然環境学習用教材動画作成数 2本
自然環境体験学習会開催数 2回

2. 概要

- わかやまネイチャー・アワード：小学生から高校生の生物に関する調査や研究の成果を募集し、表彰・展示
○ネイチャー・キャンプ：専門家の指導のもと、深く自然を学ぶための知識や技術を学ぶ機会を提供
○ネイチャー・カリキュラム：若年層の自然への興味・関心を喚起する動画の作成・活用

3. 根拠法令等

環境基本法、生物多様性基本法、和歌山県環境基本条例、和歌山県環境基本計画、生物多様性和歌山戦略

4. 実施内容等

- わかやまネイチャー・アワードの開催
個人部門177点、団体部門10点の応募があった。県内3箇所で開催した。
- ネイチャー・キャンプの開催
「海辺の生き物」のことをもっと知ろう！じっくり学ぼう！」をテーマに、京都大学瀬戸臨海実験所において夏キャンプ2日、内之浦干潟、鳥ノ巣半島において秋キャンプ2日、和歌山県立情報交流センターBig・Uにおいて振り返りの会1日を実施
- 若年層の自然への興味・関心を喚起する動画の作成
動画を2本（「里地・里山・里海～私たちと生き物がつくる環境」「外来種について考えよう！」）を作成した。